

■病院の概要

■ 病院長	前田 啓一
■ 所在地	宮崎市大字塩路江良ノ上 2783-37
■ TEL	0985-39-7630
■ 研修実施責任者	宮田 義史
■ 病床数	108 床
■ 年間入院患者実数	28,124
■ 一日平均外来患者数	132.2
■ 救急取扱患者数	77



(平成 29 年度実績)

■研修受入診療科

内 科（呼吸器内科、消化器内科、リウマチ科、神経内科、糖尿病代謝内科）

研修施設の特徴

当院は、宮崎市の北部、市民の森やシーガイアに隣接しているので、緑豊かで心安らぐ、病気治療に適した素晴らしい環境の中にあります。

病院は昭和 58 年に開設され、患者さんのために医療は存在するという理念の下、

- ◎患者さんの立場に立って医療を行う、
- ◎最新、最善の診断と治療を行う、
- ◎早期社会復帰の為にリハビリを行う、

◎地域社会の健康増進へ貢献するという基本方針に沿って医療活動を行っています。

常勤医のほとんどが宮崎大学病院の医局出身で、学生時代より縦横のつながりのある医局員で構成されていることもあり、医局の雰囲気はとてもアットホームで、診療科ごとの連携がよく取れているので、とても働きやすい病院です。

研修症例および指導体制の特徴

【研修症例】

当院での臨床研修において経験する頻度の高い疾病は以下のとおりです。

〈消化器内科〉

胃癌、大腸癌、食道癌（内視鏡診断、内視鏡治療、術前診断、化学療法）、大腸ポリープ（内視鏡診断とポリペクトミー）

消化管出血（原因検査、内視鏡止血術）

消化管感染症（細菌性腸炎、偽膜性腸炎などの診断と治療）

内視鏡的胃瘻造設術（胃瘻造設と長期管理）

※特に、健診センターが併設されていることもあり、人間ドックと病院施行の内視鏡件数を合わせると、年間の内視鏡件数は上部が 7,821 件、下部（全大腸+S 状鏡）2,734 件の症例数がありますので、内視鏡について勉強する機会が大いにあります。

《呼吸器内科》

慢性閉塞性肺疾患（診断と治療、人工呼吸管理）
肺炎（市中肺炎～難治性・重症肺炎の診断と治療、人工呼吸管理）
肺腫瘍（診断：気管支鏡検査）

《リウマチ科》

関節リウマチ（診断と治療、生物学的製剤投与）
膠原病（診断と治療）
リウマチ性肺疾患（呼吸器科と共同診療）
※特に、関節リウマチ患者数は約 1100 人、生物学的製剤投与数（現在）約 250 例の患者さんが当院で治療を受けておられるので、リウマチに関して勉強する機会が大いにあります。

《神経内科》

パーキンソン病（診断と治療、長期管理）
脳血管障害（急性・慢性期管理、リハビリテーション）
慢性神経疾患（ALS、ニューロパチーの長期管理）

《糖尿病代謝内科》

経口血糖降下剤やインスリン製剤による血糖管理
糖尿病患者の教育・指導

【指導体制】

当院では以下の指導医、学会認定専門医、資格を有する医師と研修医が共同主治医として患者を受け持ち、専門性の高い診療をマンツーマンで指導します。

臨床研修指導医講習受講者（2名）

学会資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本リウ

マチ学会専門医・指導医、日本アフェレシス学会専門医、日本神経学会専門医

専門資格：インфекションコントロールドクター（ICD）、日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医

教育認定施設：日本消化器内視鏡学会、日本リウマチ学会、日本アフェレシス学会

教育関連施設：日本神経学会

指導医・先輩医師からのメッセージ

今、医療の現場は高齢化社会により、疾病を抱えた高齢の患者さんでいっぱいです。

これは、宮崎に限らず日本国内であれば東京などの大都市でも同じ状況にあります。

ですから、すべての診療科の医師にとって、高齢者の身体に関する知識と高齢患者さんを診るスキルは必須です。

当院は、周辺の老人保健施設や療養型病院の後方支援を担っているため、高齢者医療を医療の面のみならず、社会的側面など総合的に学べて、研修医の先生方の貴重な経験を得ることのできる施設だと自負していますので、ぜひ市民の森病院へ勉強に来てください。